

障害者支援施設 羽合ひかり園

1 基本方針

どんなに障がいが重くても、「施設から地域の中へ」を目標とし、一人ひとりの幸せを考え、その人らしい豊かな生活が送れるよう支援する。

2 利用者の状況（令和4年3月31日現在）

(1) 入所者状況

(人)

| 利用人数 | | 前年度末利用者数 | 令和3年度中の入退所状況 | | | | | | | | 利用延人員 | 定員に対する年間平均稼働率 | 年度末利用者数 |
|--------|--------|----------|--------------|------|-------|---|------|------|-----------|----|--------|---------------|---------|
| | | | 入所人員 | 退所人員 | 退所理由別 | | | | | | | | |
| | | | | | 地域移行 | | 家庭復帰 | 施設移管 | 契約解除(入院等) | 死亡 | | | |
| 区分 | 定員 | | | GH | アパート等 | | | | | | | | |
| 生活介護 | 80 | 88 | 1 | 11 | 0 | 0 | 0 | 2 | 5 | 4 | 20,027 | 93.1% | 78 |
| 施設入所支援 | 50 | 49 | 1 | 5 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 17,201 | 94.3% | 45 |
| 2年度 | 生活介護 | 80 | 87 | 4 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 20,153 | 93.6% | 88 |
| | 施設入所支援 | 50 | 48 | 5 | 4 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 17,033 | 93.3% | 49 |

(2) 障害支援区分

①生活介護

(人)

| 性別 | 障害支援区分 | | | | | | | 計 |
|----|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | 非該当 | 区分1 | 区分2 | 区分3 | 区分4 | 区分5 | 区分6 | |
| 男性 | 0 | 0 | 0 | 2 | 7 | 16 | 38 | 63 |
| 女性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 11 | 15 |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 2 | 10 | 17 | 49 | 78 |

②施設入所支援

(人)

| 性別 | 障害支援区分 | | | | | | | 計 |
|----|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | 非該当 | 区分1 | 区分2 | 区分3 | 区分4 | 区分5 | 区分6 | |
| 男性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 7 | 27 | 36 |
| 女性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 8 | 9 |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 7 | 35 | 45 |

3 事業の実施状況

(1) 行動障がい者等の支援の充実

令和3年9月に虐待が発生した。直ちにケース検討会を行い、支援マニュアルの見直し、職員間の応援体制、園内異動による該当寮への職員の増員を行った。

虐待防止に係る取り組みについては、①意識啓発、②支援スキルの向上、③風通しの良い職場風土の3点と考えている。

意識啓発については、例年、虐待防止チェックシートや各種研修の受講を実施していたが、今年度は各種会議において都度注意喚起を行った。

支援スキルの向上については、各種研修の受講の他、事例検討等に取り組んでいたが、今回の虐待事案を参考に、特定の職員の支援拒否が強い利用者について、支援方法の見直しの検討を行った。

風通しの良い職場風土づくりについて、施設長と全職員の個人面談等も行っているが、日々の会話が一番重要であるため積極的な声掛けに努めた。

(2) リスク管理と感染症予防

ア リスクマネジメント委員会は、毎月1回定期的に実施するとともに、必要に応じて緊急リスクマネジメント委員会を開催し、再発防止策を検討している。

イ 今年度は新型コロナの感染状況を踏まえ、感染対策委員会を15回開催し、感染予防を検討した。

面会、外出、外泊の自粛、行事等の縮小により、利用者に負担を掛けたが、オンライン面会の実施、また、日帰り旅行は、観光地へ行くことは止め、昼食は比較的小さな店を貸し切ったり、ドライブスルーで購入し、地域の公園で食べるなど極力楽しみのある生活の提供に心掛けた。

湯梨浜町及び嘱託医の協力により、第1回目と2回目を6月から8月に掛けて、第3回目を1月から2月に掛けて、比較的早い段階で希望する利用者と職員にワクチン接種を行うことができた。

また、食中毒予防に関して、当園の調理師を講師として研修会を実施した。

ウ 風水害対策としては、園外へ避難するリスク、避難先でのリスクを考慮し、7月の大雨災害時も園内にとどまったが、特に被害はなかった。

(3) 行動障がい者等の支援の充実

ア 月に1回、精神科医の往診を受けている。8月からはNPO法人系の職員に有識者としてアドバイザーを依頼し、オンライン検討会を計4回実施した。

また、当園の強度行動障がい者が多く利用する寮の職員が参加して、他寮の行動障がい者の方のケース検討会を実施した。

イ 強度行動障がい者支援者養成研修は、基礎7名、実践3名が受講し、専門研修には、オブザーバーとして1名が参加、職員2名を講師として派遣した。また、国が実施する同研修には基礎1名、実践1名が受講した。

(4) 重度知的障がい者の高齢化支援の充実

ア 医療機関、特に嘱託医の協力の下、利用者の健康状態の変化について早期発見に努め、例年と比べ入院者が大幅減となった。

イ 概ね2か月に1回母来寮の理学療法士を派遣してもらい、相談会を開催し、介護技術や福祉用具の選定についてアドバイスを受けた。

(5) 生活介護の充実

ア 外部講師によるアート活動は15回実施した。令和3年度鳥取県障がい者芸術・文化作品展「あいサポート・アートとっとり展」に絵画、書道、立体造形などの作品を計10点を出展した。1名が銀賞、1名が審査員特別賞を受賞された。

今年度は個展を開催する予定だったが、新型コロナ感染拡大のため実施を見送った。

イ 施設の近隣が臨海公園という恵まれた環境を活かし、ウォーキング活動を積極的に実施した。

また今年度はリサイクル回収ボックスを設置し、その活動に取り組んだ。回収ボックスには利用者に絵を書いてもらい、リサイクル活動とともに当園のアート活動についても地域住民へPRした。

ウ 6月に外部講師を招き、意思決定支援についての研修会を行った。意思表示が難しいご利用者には、文字だけでなく写真や絵を取り入れたカードを用いながら、わかりやすく情報を伝え、自らの意思が反映できるよう取り組んだ。

(6) 地域との連携・交流の促進

ア 地域の行事は軒並み中止となったが、湯梨浜町主催で年2回実施された東郷池清掃活動には参加した。ひかり園祭は保護者や地域の方の来園はご遠慮いただき、利用者職員のみで行った。

イ 中部自立支援協議会、湯梨浜町人権教育委員会へ引き続き参加するとともに、今年度から湯梨浜町社協の理事に就任し、地域の諸問題の解決に参加した。

また、地域貢献の一環として、体育館を羽合ミニバスケットボールスポーツ少年団に無料で貸し出した。

(7) 経営改善・基盤の確立

ア 羽合ひかり園の建替について、改築の形態（障害者支援施設又は日中支援型グループホーム）について、それぞれのメリット・デメリットを比較して検討を行った。

来年度は設計会社に見積書の作成を依頼し、経費面について引き続き検討していくこととしている。

イ 強度行動障がい者、支援困難者からの申込みがあるものの、個室がないため入所の受け入れは難しい状況であり、稼働率の減少に繋がった。

目標稼働率：生活介護98.0%、施設入所95.0%、短期入所5%

実績稼働率：生活介護93.1%、施設入所94.3%、短期入所0%

4 実習、ボランティアの受入状況

(1) 実習の受入実績

| 実習受入先 | 実習期間(月) | 実人員 | 延人員 |
|------------|---------|-----|-----|
| 鳥取短期大学 | 9月 | 4人 | 40人 |
| 鳥取社会福祉専門学校 | 11月、12月 | 4人 | 20人 |
| 計 | | 8人 | 60人 |

(2) ボランティアの受入実績

鳥取県レクリエーション協会、鳥取県インテリア事業組合 [延11名]

5 附帯事業

(1) 短期入所事業 定員 空床型

(2) 日中一時支援事業 定員 上記同様 (主な受入先：琴浦町)

(3) 利用実績 (人)

| 事業区分 | 今年度利用者数 | | 前年度実績利用者数 | |
|-------------|---------|-----|-----------|-----|
| | 実人員 | 延人員 | 実人員 | 延人員 |
| 短期入所事業(宿泊有) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 日中一時支援事業 | 5 | 25 | 5 | 26 |